

子どもの化学物質汚染

～農薬を通して見えてきたもの～

今、子どもたち(大人も含め)を取り巻く危険な化学物質の話をしたと思います。

食べる農薬もさることながら、食よりもっと恐ろしい農薬による空気汚染は、だれも避けることができないのです。

ぜひ、子どもたち(大人も含め)を守るため、みなさん一緒に考え、学習しましょう。そして私達もたとえ小さな一歩でも具体的な行動を起こしましょう。

講師紹介

看護師・環境アレルギーアドバイザー。看護師、高等看護学院講師を務めたのち、結婚。息子が小学校5年生のときにシックスクール症候群になり、「小樽・子どもの環境を考える親の会」を立ち上げる。現在は、会の運営、講演会、アレルギーや化学物質過敏症などの相談、行政への仲介・要望などに携わるかたわら、アレルギーや化学物質過敏症の方が買い物ができる「絵本と環境雑貨の店ワオキツネザル」を経営

ネットで生中継します！
ご自宅で視聴できます(事前申込)



神 聡子氏 Jin satoko
小樽・子どもの環境を考える親の会代表



【内容紹介】なぜ安全性の確認をせず市場にでてくるのか、なぜ海外で危険かもしれないという研究結果があるにもかかわらず製造・販売を中止しないのか。将来、子どもにどんな影響がでるかもわからないものが、なぜ野放しになっているのか、売れさえすればいいのか。

と き 2020年 **12月5日(土)**
14:00~16:00
場 所 札幌エルプラザ 中研修室
札幌市北区北8条西3丁目
参加費 500円(学生・Zoom参加無料)
定 員 40名(三密を避けるため)

Zoomで参加(視聴)ご希望の方はiryo9jyo@gmail.comにご連絡ください。URL(視聴方法)をお知らせします。